

取扱説明書

ウイルス接触低減型 フットサポート

スマートフットレスト



Vol.10

作成者	有限会社 ハーティーン・メッセージ
作成日	2023年6月30日

Virus-Responsive Minimal Contact Design Footrest
“Smartfootrest”

目次

安全にお使いいただくために.....	1
1. 商品の情報.....	2
2. 取付・調整・メンテナンス.....	3
3. 使用方法.....	5
4. よくあるご質問.....	6
5. お問い合わせ先.....	7

安全にお使いいただくために

本書および本製品の取扱説明書に記載されていること以外には行わないでください。思わぬ事故やケガの原因となることがあります。大切な記載事項には次のようなマークを使用しています。これらの事項は必ずお守りください。



警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負うおそれのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ず以下の警告事項をお守りください。



注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負うおそれや物的損害が発生するおそれのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ず以下の注意事項をお守りください。



警告

本製品の開閉操作は、手で触れずに靴を履いた足で行ってください。挟み込みによるケガが発生する可能性があります。



警告

本製品は靴（リハシューズ・スリッパなど）を履いた状態で使用してください。裸足（はだし）では挟み込みによるケガが発生する可能性があります。



警告

認知症など理解力の低下により、スマートフットレストに足を乗せたまま立ち上がる可能性のある方はご使用しないでください。転倒事故や同部の破損の可能性があります。



注意

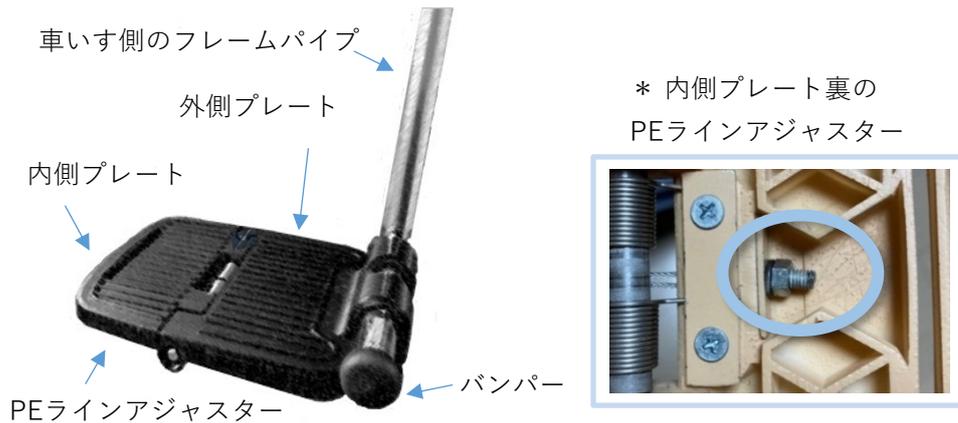
本製品は、構造上内側プレート(先端部分)への耐荷重量が従来製品よりは少なくなっています。プレート中央部へ足を設置する通常使用では問題ありませんが、足の変形や麻痺などにより、内側プレートのみ荷重されるおそれのある方はご使用しないでください。

1. 商品の情報

この度はスマートフットレストをご利用いただきありがとうございます。

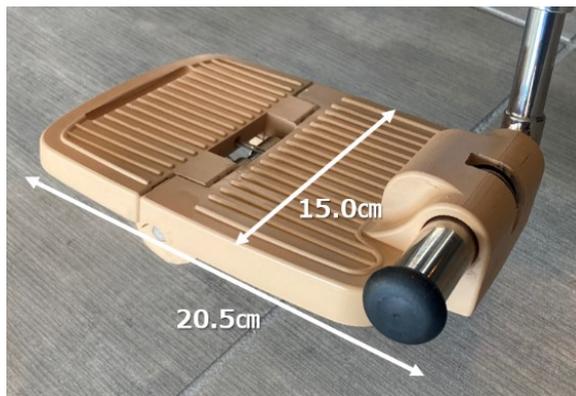
スマートフットレストは従来のフットサポートに比べて開閉操作をより容易に行うことができます。このことによって、車いすユーザーの自立生活を支援し、また、フットサポートに手を触れることなく、足だけで開閉可能となるため、介助者も含めて手指衛生の向上がはかれます。

各部説明（左側のスマートフットレスト）



詳細情報

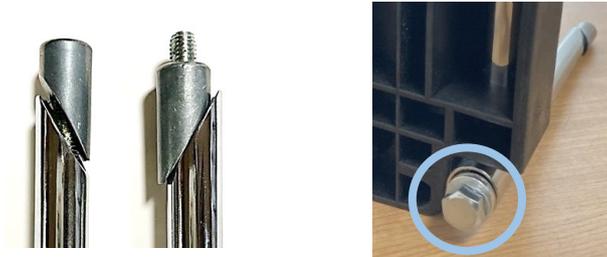
- カラー：ベージュ ○パイプ内径：16 mmに対応
- 重量：740 g（片側、パイプ含む） ○材質：PP樹脂、ステンレス、スチール
- 製造所：大連（中国） ○サイズ：以下図を参照



2. 取付・調整・メンテナンス

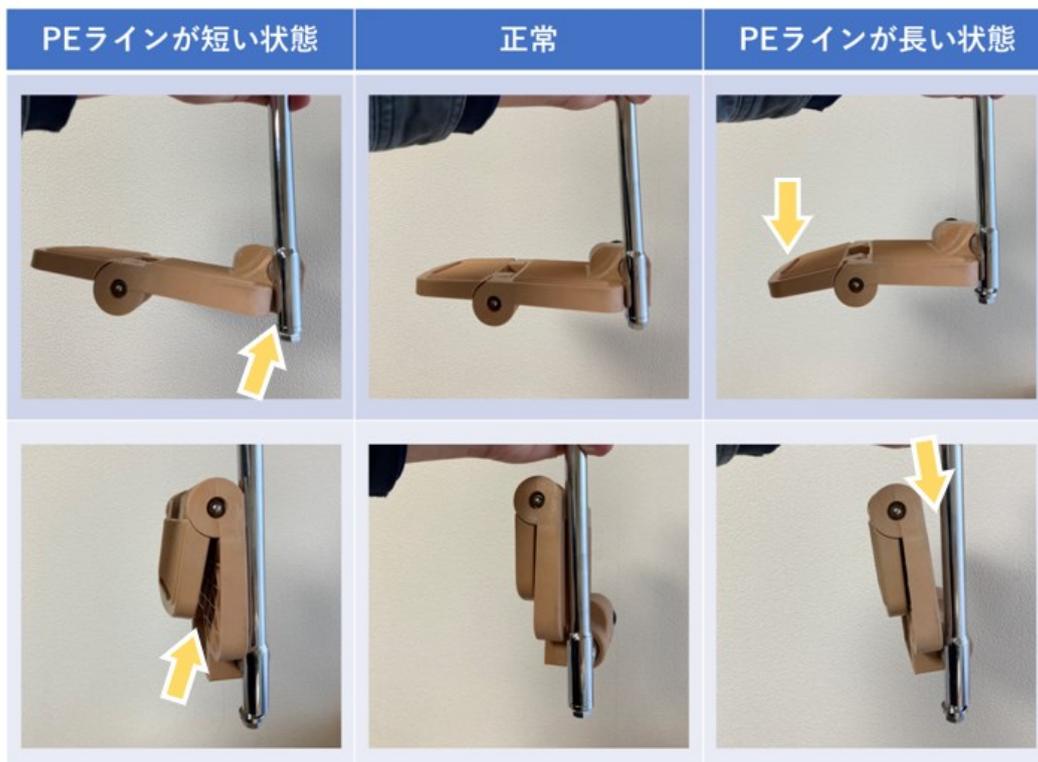
スマートフットレストの金属支柱（内径は 16 mm に対応）を車いす側のフレームパイプに挿入して固定します。

金属支柱の上端には固定ナットがあります。これを緩めた状態（下図左）で車いす側のフレームパイプに挿入して、金属支柱下部のボルト（下図右）をしめることで、固定ナットがパイプ内部でずれて固定されます。



PE ラインの長さ設定

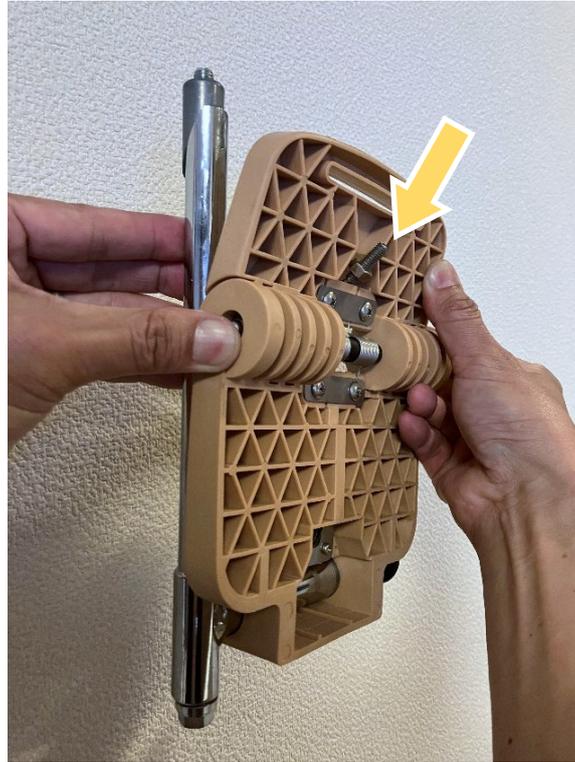
初期の段階では、ご使用と共に PE ラインが伸びて下図右側の状態になることがあります。一か月を目安に PE ラインの長さ調節を行ってください。閉じた状態で支柱パイプとプレートとの間に隙間があれば（写真右下）、PE ラインが長い状態です。経過とともに徐々に伸びはなくなり馴染んでいきます。



PE ラインの長さ調整について

PE ラインの長さ調節を行う際は、閉じた状態で、内側プレート部分のみを開くと PE ラインに緩みができます（下図）。この状態で、アジャスターボルトを少し引き出し、ナットを回して調整してください（矢印）。そうすることで工具を用いずに指だけで調整可能となります。

*この状態ではバネの回復力が強いので、挟み込みには十分注意してください。



メンテナンスについて

ほこりや細かな砂などにより開閉動作が緩慢になったり、動きが不十分となる場合があります。一か月を目安に、シャフト部分と、パイプとプレートの軸部分のほこりや砂を掃除機やブロアーで取り除いてください。汚れがひどい場合は流水で洗い流してください。それでも動作が改善しない場合は、販売店にご連絡ください。

決して分解はしないでください。怪我の恐れがあります。

3. 使用方法

車いすユーザーの使用方法

車いすユーザーは、スマートフットレストに足を乗せ、内側に傾けるだけで開操作が行えます。閉操作はスマートフットレスト底部を足で軽く跳ね上げることで、あとは自動的に閉じます



介助者の使用方法

介助者は車いすユーザーの脚を持ち上げ、スマートフットレストに乗せ、内側に傾けることで開操作を行います。閉操作は車いすユーザーの脚を降ろし、介助者がスマートフットレスト底部を足で軽く跳ね上げることで、あとは自動的に閉じます。



4. よくあるご質問

Q1：本当に足だけで操作可能ですか？

A：足だけで、わずかな力でフットサポートの開閉操作が可能です。ご自分で足を動かさない方は介助者の援助が必要となりますが、介助者もプレート部に手で触れることなく、足だけで開閉することができ、衛生的です。

Q2：足で操作することに抵抗があります。

A：私たち日本人には物を大切に、丁寧に扱う習慣があり、手で扱えるものを足で代用することに抵抗があります。ただ、新型コロナウイルスの出現によってそのような考え方が変わりつつあります。感染対策を考えた場合、私たちの手はより限定した使用とすべきで、飛沫の落下が考えられる床面とつながるフットサポートに触れることは極力避けなくてはなりません。はじめは抵抗があるかもしれませんが、あなたと、あなたの大切な人を守るために、足での操作に慣れてください。

Q3：耐久性はどうか？ 壊れやすくないですか？

A：繰り返し耐久試験では 52,560 回を目標数に設定 一日 20 回×6 年（車いすの耐用年数）×1.2（安全率 20%） しましたが、不具合など生じることなく 13 万回をクリアしました。また、破壊試験（耐荷重負荷試験）では、一般成人男性（65 kg）の片足重量 11.7 kg（大腿部含む）の 2 倍、24 kg を目標値に設定しましたが、目標値を超える 80 kg でパイプが湾曲しました。正規使用とは異なる先端プレートのみへの荷重では、30～50 kg で足部が落下する程度の下垂を認めましたが、破損には至らず、PE ラインの再調整のみで動作には問題ありませんでした。結果として、通常の使用では全く問題はありません。ただし、プレート部分の分割により内側プレート（先端部分）の荷重に弱い構造であることは間違いありません。先端部分に偏らず、プレートの真ん中に足を設置して使用してください。

	目標値	結果	合否判定
耐久試験	52,650 回	136,000 回	合格
破壊試験	24 kg	80 kg	合格

Q4：介助者は、どのようにして手を触れずに開閉しますか？

A：介助者は、車いす乗車者の下腿と足部を持ち上げ、その足をスマートフットレスト乗せ、内側に傾けると開きます。閉じる際には同じようにして足をスマートフットレストから降ろし、介助者の足でスマートフットレストを跳ね上げます。詳しくは5ページをご参照ください。

Q5：どんな車いすにも取り付け可能ですか？

A：現在、車いす側フレームパイプの内径16mmの差し込みタイプのみに対応しています。車いす側の内径をご確認ください。

Q6：商品が壊れた場合のメーカー保証はありますか？

A：販売から一年以内の故障であれば対応いたします。お問い合わせの上、故障品を着払いで発送してください。ただし、こちらで故障の原因を調べ、内側プレートへの偏った荷重など、故障再発の可能性が高いと思われる場合には、販売を見合わせる場合があります。ご了承ください。

Q7：特許出願しているのですか？

A：はい。国際特許出願中です。

5. お問い合わせ先

ご質問に関するの連絡先

メール：heartym2000@gmail.com

ウェブサイト：<https://www.heartym2000.com/>



有限会社 ハーティーン・メッセージ

〒781-8136 高知県高知市一宮西町 2-15-10